

Merry Christmas



日本福音キリスト教会連合 (JECA)

北栄キリスト教会

Hokuei Christ Church

「あなたがたが経験した試練はみな、人の知らないものではありません。神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えていてくださいます。」

(聖書 コリント人への手紙第一 10 章 13 節)



「不急不要の外出はお控え下さい」。今年、この呼びかけを何度耳にしたことでしょうか。コロナ禍によって、何が本当に必要なことを改めて問い直されました。この一年弱で世界の様相は一変し、その影響は健康課題だけにとどまらず、差別や格差といった社会問題を深刻化させ、世界的な経済危機を引き起こしました。果ては国家の統制にもつながりかねないと、識者たちは警鐘を鳴らしています。

体調不良を感じると不安になり、様々なデマや中傷が絶えないニュースを見聞きする時に、疑心暗鬼な空気が社会を覆っていることを実感します。これまで当たり前と思っていた生活スタイルは崩れ去り、私たちの社会は不安定なものの上に成り立っていたことがわかってきました。コロナ禍で噴出した諸問題は、実は以前から潜在的に抱えていたものも多いでしょう。このような危機の時代のただ中で、私たちは何を頼りにすれば良いのでしょうか。

冒頭に挙げた聖書の言葉は、「真実な神は、あなたを耐えられない試練には遭わせることはなさない。その中で必ず脱出の道が備えられる」というメッセージを語っています。この苦しみに耐えられるだろうか…と思う時に、「大丈夫だ。あなたは必ずそこを抜けられる」と大胆に確証してくれる神がおられるのです。

この神は真実なお方なので、いたずらに私たちの人生を壊そうとはしません。たとえ、あなたが暗いトンネルを一人で歩いているように思えても、傍らに寄り添って「これが道だ、これに歩め」と導いて下さる神がおられ、聖書が私たちの足のともしびとして進むべき道を教えているというのです。砂漠でさまよう時に北極星が方角を指し示してくれるように、私たちがこの時代を生き抜くための確かな答がここに 있습니다。

世の中に渦巻く無数の問題の根を解決するために、2000年前にイエス・キリストが来られました。コロナ禍のただ中であっても、確かな希望を指し示すクリスマスは今年も訪れます。そして、この季節が巡り来る度に、神が私たちを愛しておられることを思い出すのです。

希望が見えにくい今だからこそ、暗闇に差し込む一筋の光のようなイエス・キリストの誕生を覚えて、クリスマスの喜びをご一緒に味わいませんか。どなたでも歓迎致します。どうぞ教会へお越しください。

北栄キリスト教会牧師 中西健彦